

平成11年度 道路交通センサス

ROAD TRAFFIC CENSUS

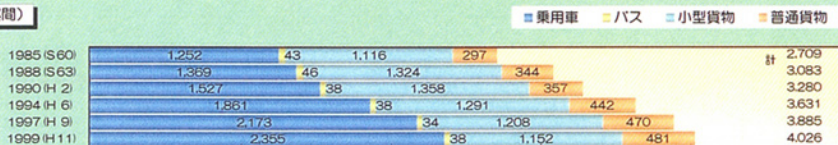
道路と道路交通の実態を把握するために昭和3年から始まった全国道路交通情勢調査は、昭和55年頃に調査体系が確立し、道路交通センサスと呼ばれるようになり、約20年が経過しました。そして平成11年度に、「道路の多面的な使われ方」や「暮らしと道路の関係」などが把握できるように大幅な調査内容の見直しを図り、新・道路交通センサスとなり、平成11年10月上旬から実施しました。

このパンフレットは、一般交通量調査結果の概要をご紹介します。

平均交通量の経年変化（四国平均）

平成11年の平日交通量を昭和60年と比較すると全車種で1.5倍、乗用車だけを見ると、1.9倍と増加している。

平日（昼間）

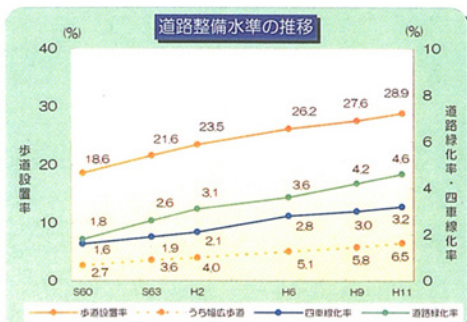


休日（昼間）

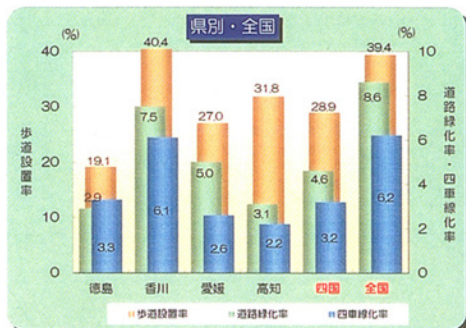


道路整備水準（一般道路）

四国の道路水準は平成9年度と比較すれば向上しているものの、いまだ全国平均と比べて、歩道設置率が7割、四車線化率、道路緑化率では5割という状態である。



※ 一般道路とは、一般国道、主要地方道、一般県道のことである。
幅広歩道とは歩道幅員が3m以上の歩道である。
四車線化率とは4車線以上の道路延長割合である。



国土交通省 四国地方整備局

お問い合わせ先：国土交通省 四国地方整備局 道路部 地域道路課 計画係

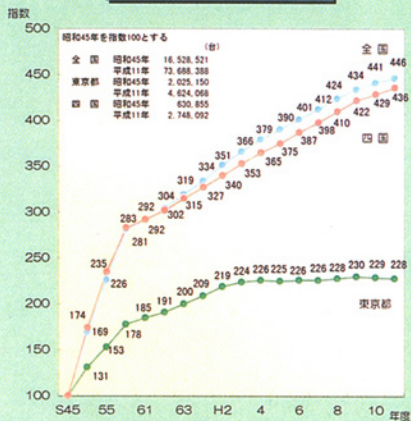
・電話 (087) 851-6061 (代) ・FAX (087) 823-7809

・E-mail shikokuchisei@skr.mlit.go.jp

自動車保有台数

四国の自動車保有台数は、昭和45年から上昇傾向にあり全国平均とほぼ同じ傾向である。

自動車保有台数の伸びの推移



都道府県別自動車保有台数表

平成11年3月現在

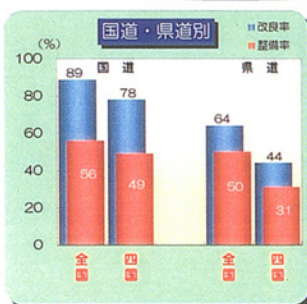
都道府県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国計	全国計
自動車保有台数	576,799	698,867	935,733	536,693	2,748,092	73,688,388
人口	835,781	1,035,579	1,517,190	821,199	4,209,749	125,860,006
1人当り車台数	0.69	0.67	0.62	0.65	0.65	0.59
性別	13	18	34	24		
世帯	292,706	372,283	578,563	320,978	1,573,530	46,811,712
一般世帯当り車台数	1.97	1.88	1.62	1.63	1.75	1.57
性別	19	23	35	33		
車種	4,144	1,861	5,676	7,104	18,785	366,111
1km ² 当り車台数	1392	3755	1649	755	1463	2013
性別	34	8	27	43		
免許人口	506,105	635,132	891,808	485,499	2,518,544	72,733,411
1人当り車台数	1.14	1.10	1.05	1.11	1.09	1.01
性別	20	29	37	28		

出典：「自動車台数の推移」(平成11年度版)四国運輸局

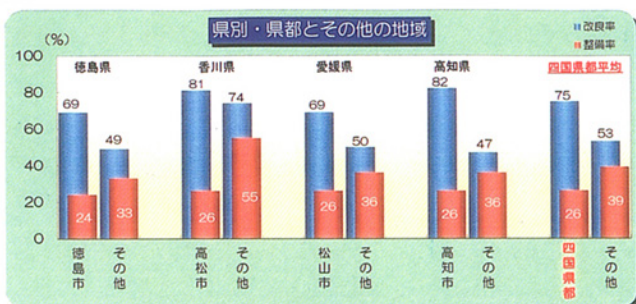
- (1) 都道府県別人口、世帯は、「全国人口・世帯数表・人口動態表」より出典。
- (2) 面積は、国土地理院調べ。
- (3) 免許人口は、平成10年12月末日現在、警察庁交通課調べ。

整備率・改良率の状況

四国の国・県道の改良率・整備率は全国と比べて著しく遅れている。県別には香川が他県より整備が進んでいる。



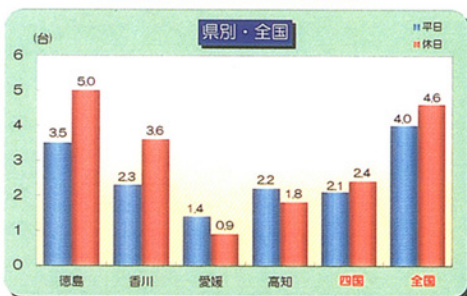
改良率：車道幅員5.5m以上の改良済区間延長の割合



整備率：交通量が交通容量以下の改良済区間延長の割合

路上駐車台数

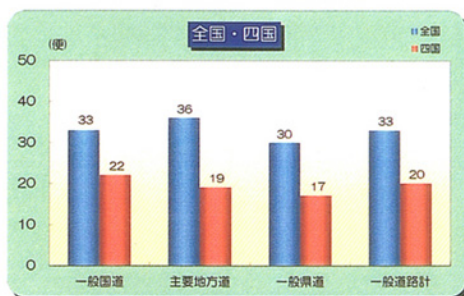
徳島県の休日路上駐車台数が全国を上回っている。他はほぼ半分程度である。



路上駐車調査は今回新規に行われた調査の一つで沿道状況が人口集中地区である区間内でラッシュ時間帯に上り下り両方向の路上駐車車両数を調査した。

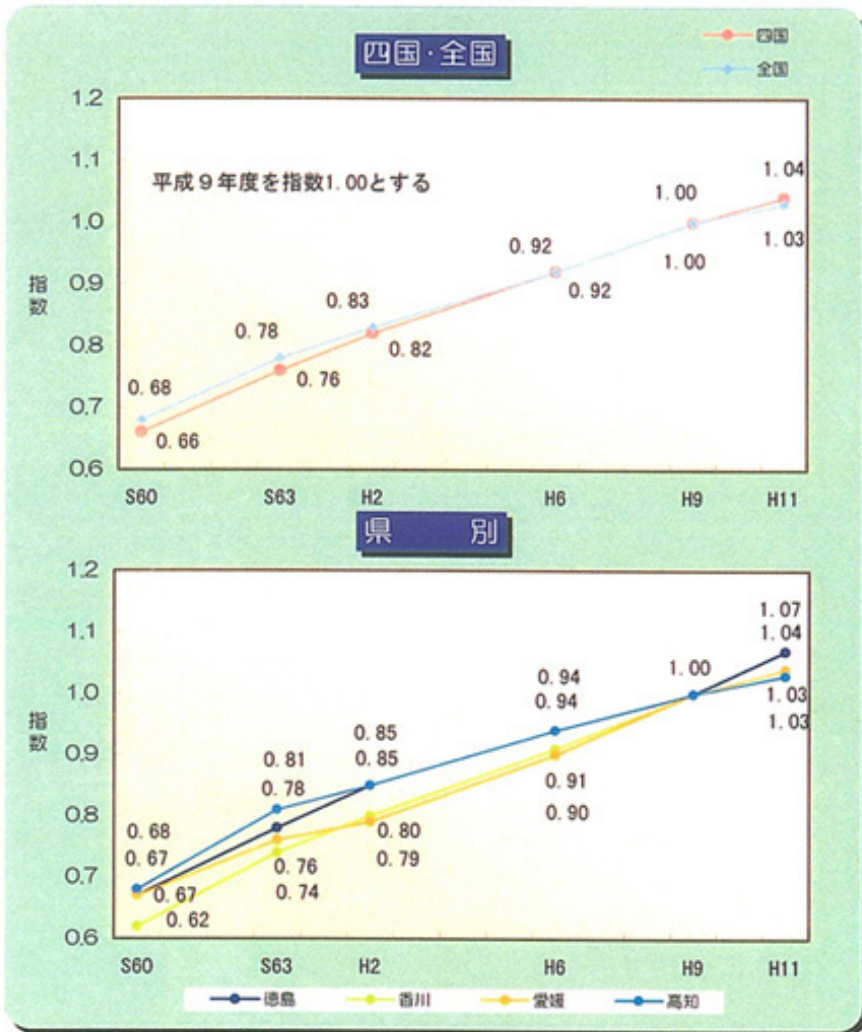
平均バス便数

四国の平日1日当たりの平均バス運行便数は全国平均の約6割程度となっている。



一般交通量調査の対象路線に存するバス停について平日1日のバス運行便数、整備状況、バス停留面の道路状況及び交通結節状況を調査した。

自動車走行台キロの推移 (24h)

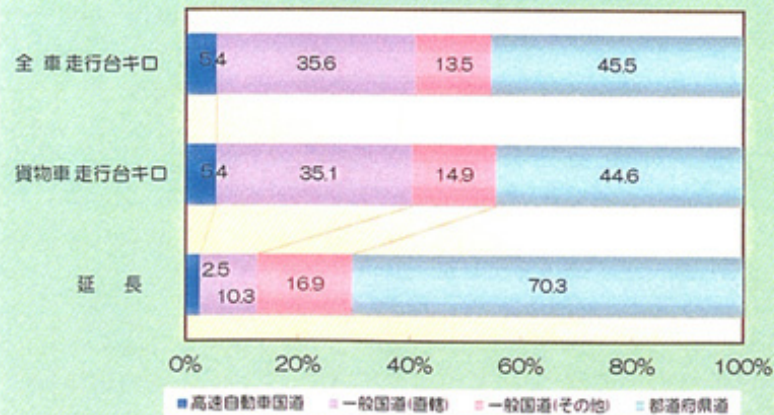


・四国の平均自動車走行台キロは、全国平均と同様な伸びが見られる。H9～H11の年平均伸び率は、2.0%となっている。

・自動車走行台キロを県別に比較すると徳島と愛媛の伸びが高く香川と高知が低くなっている。

*自動車走行台キロ = [各調査区間延長 × 交通量(24h)] の総和

道路種別別交通量分担 (四国)



高速自動車国道、一般国道(直轄)は、延長割合がそれぞれ、2.5% 10.3%(合計12.8%)であるのに対し、交通量はそれぞれ、5.4% 35.6%(合計41.0%)と3倍強を分担している。

愛媛県における交通量上位5傑

(単位: 台/12時間)

順位	路線名	観測地点名	交通量(H11)
①	一般国道11号	松山市北久米町785	43,579
②	一般国道33号	松山市天山町273	41,789
③	一般国道33号	松山市東石井町484-1	40,598
④	一般国道196号	松山市生石町699-2	40,370
⑤	一般国道11号	松山市中村2丁目7-22	37,508

凡例

- ~ 100百台
- ~ 200百台
- ~ 300百台
- ~ 400百台
- 400百台~

松山市



高知県における交通量上位5傑

(単位: 台/12時間)

順位	路線名	観測地点名	交通量(H11)
①	一般国道56号	高知市城山町字殿尻63-1	41,264
②	一般国道32号	高知市知寄町3丁目35	38,510
③	北本町鎮石線	高知市北金田15-1 JAF前	37,618
④	一般国道32号	高知市介良乙字大井流	37,371
⑤	一般国道55号	南国市明見字仁王門	35,864

凡例

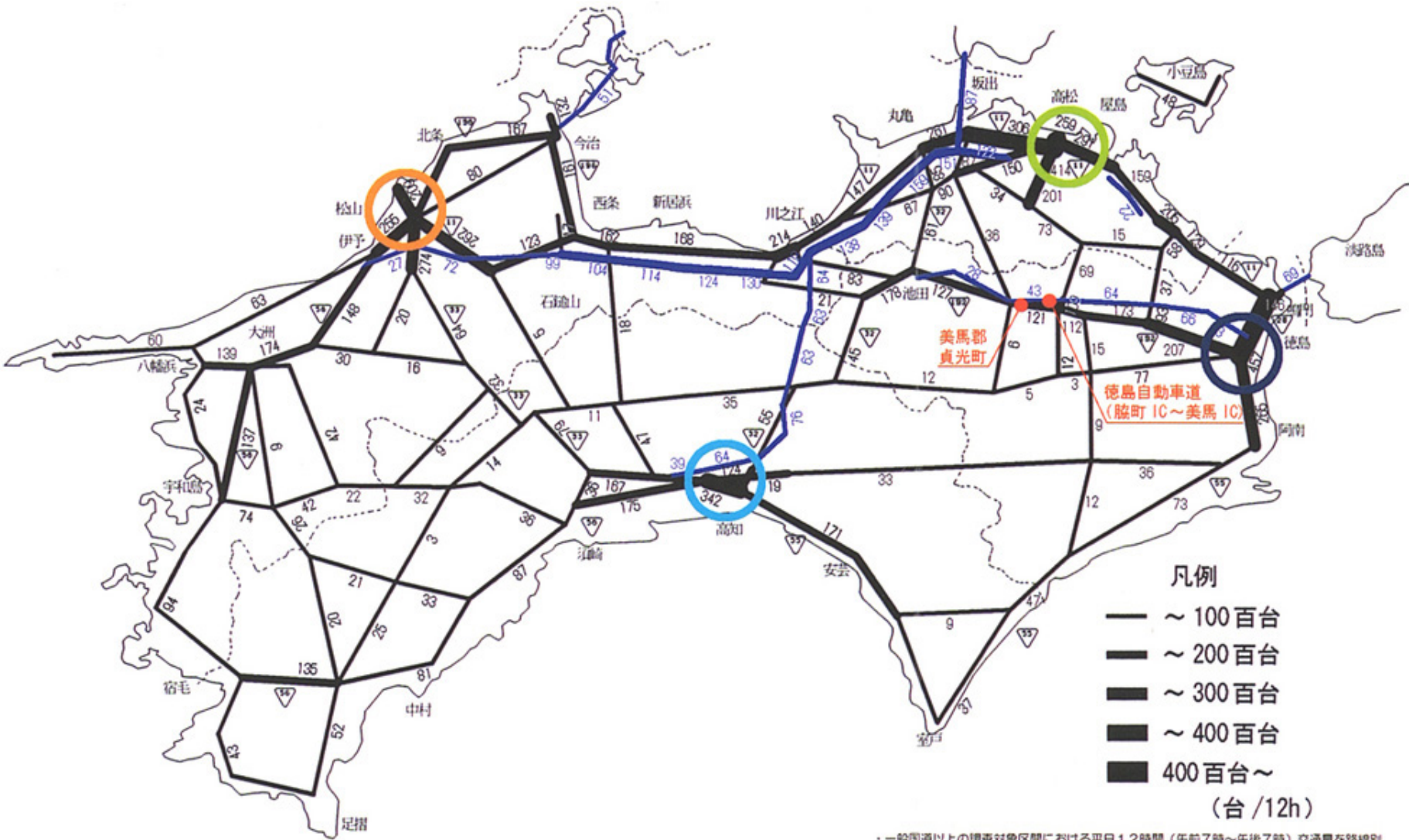
- ~ 100百台
- ~ 200百台
- ~ 300百台
- ~ 400百台
- 400百台~

高知市



平成11年度 道路交通センサス交通量図

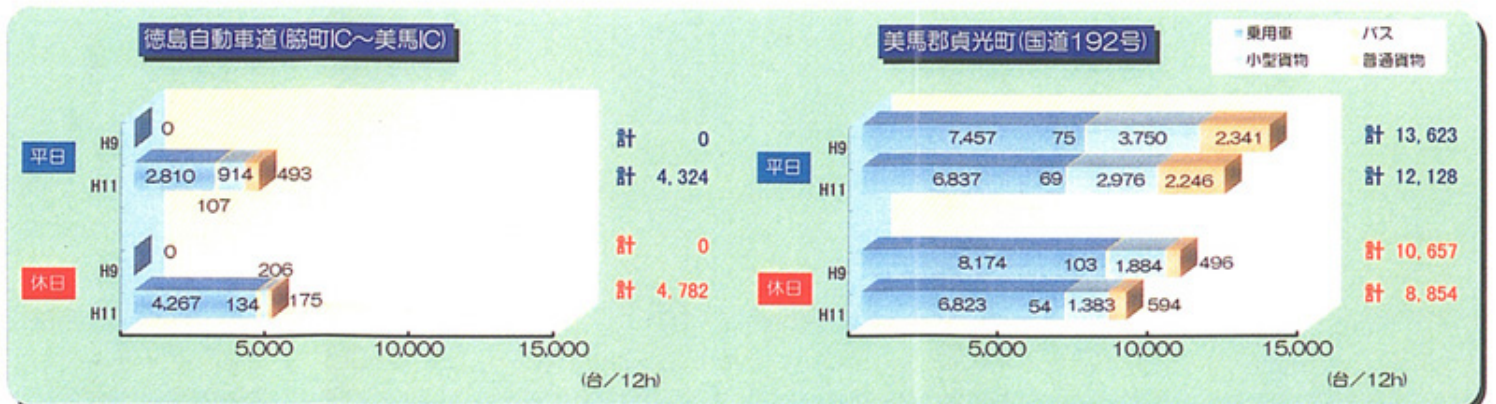
(全車・平日昼間)



・一般国道以上の調査対象区間における平日12時間(午前7時~午後7時)交通量を路線別に統合し路線の太さで交通量の変化を表しています。
 ・道路網に沿って記載されている数値は平均交通量を100台単位に表したものです。
 ・高速自動車道においてはインターチェンジ毎の交通量を表しています。

高速道路開通前後の周辺国道への影響

徳島自動車道(脇町IC~美馬IC間)が平成9年12月に開通し、美馬郡貞光町(国道192号)では、平日で約1割減、休日で約2割減となっている。



香川県における交通量上位5傑 (単位:台/12時間)

順位	路線名	観測地点名	交通量(日11)
①	一般国道11号	高松市藤塚町1丁目3-28	43,559
②	一般国道11号	高松市上天神町字源太也188-1	42,239
③	一般国道11号	高松市田村町西内226-5	41,326
④	一般国道11号	高松市勤使町字田中166-1	36,071
⑤	一般国道11号	綾歌郡国分寺町新名字前谷18-1	35,983

凡例

- 100百台
- 200百台
- 300百台
- 400百台
- 400百台~

高松市



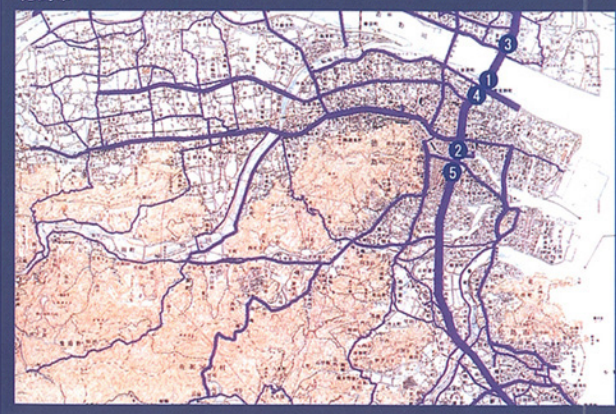
徳島県における交通量上位5傑 (単位:台/12時間)

順位	路線名	観測地点名	交通量(日11)
①	一般国道11号	徳島市東吉野町2丁目	62,945
②	一般国道11号	徳島市中洲町1丁目	55,043
③	一般国道11号	徳島市川内町錦江北	55,017
④	一般国道11号	徳島市北常三島町2丁目	51,105
⑤	一般国道55号	徳島市からどき橋3丁目	50,292

凡例

- 100百台
- 200百台
- 300百台
- 400百台
- 400百台~

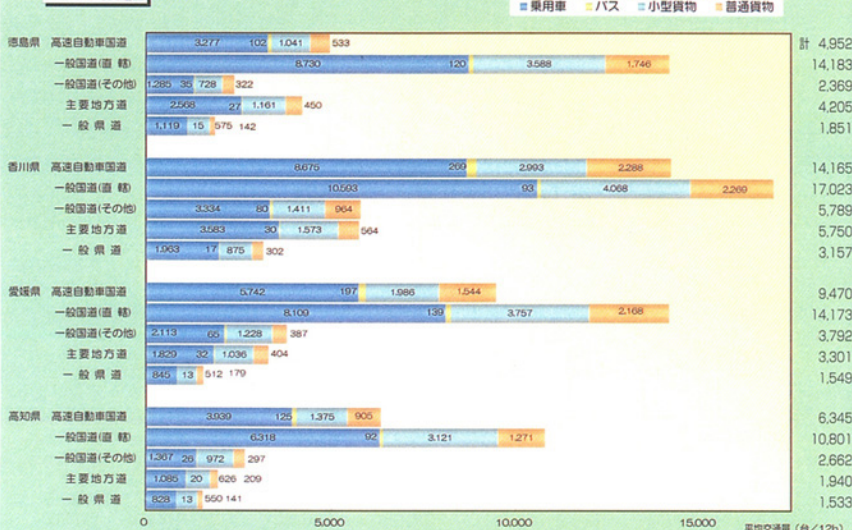
徳島市



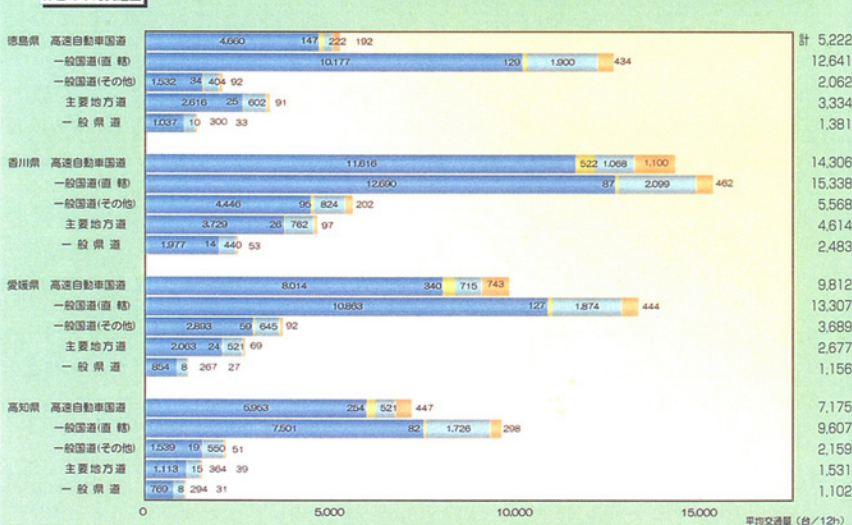
平成11年度 県別平均交通量(平日・休日)

一般国道(直轄)の平均交通量が最も多いのは平日・休日ともに香川県となっている。

平日の平均交通量

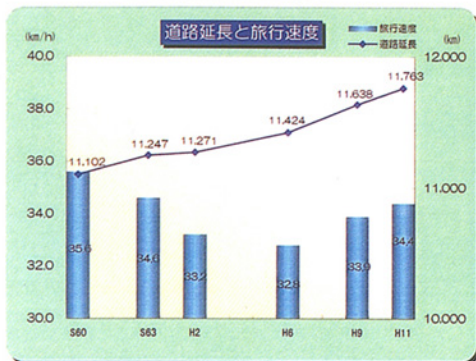


休日の平均交通量

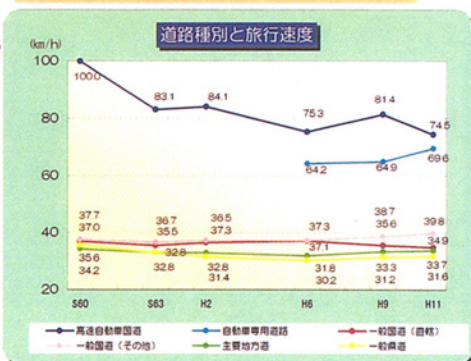


※ 本四連絡道路は一般国道(その他)を含む。

旅行速度の推移（県道以上）



・旅行速度とは、平日の朝夕のラッシュ時および、休日の最も混雑する時間帯に調査した走行可能速度である。
 ・高速自動車国道の旅行速度は、徐々に下降し近年は他の道路種別と同様にほぼ横ばい状態となっている。



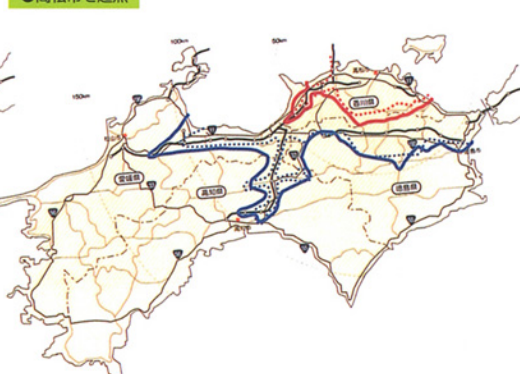
1, 2時間以内で移動可能な範囲

平成11年度の一般交通調査を基に、朝夕のラッシュ時における県都から1, 2時間以内で移動可能な範囲を示しています。

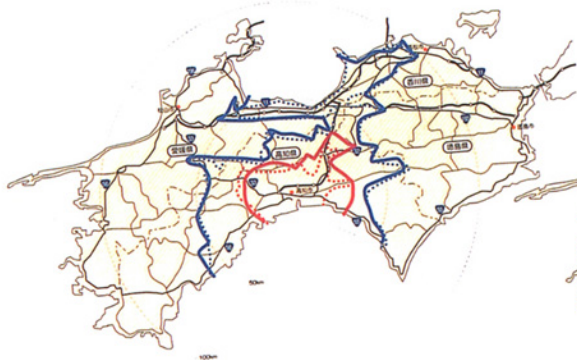
●松山市を起点



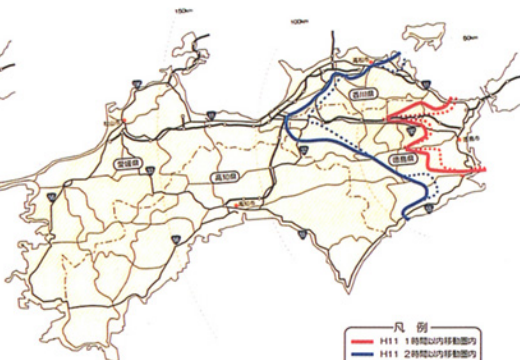
●高松市を起点



●高知市を起点



●徳島市を起点



凡例
 - 実線 1時間以内の移動範囲
 - 点線 1時間以内の移動範囲
 - 虚線 2時間以内の移動範囲
 - 点線 2時間以内の移動範囲

※ (1) 高速道路を利用した場合、到達圏内のインターチェンジまでとなっています。
 (2) 調査以後における道路の開通により、現時点では範囲がかわっている場合があります。

